

豊川市立中部中学校

< 6 月 4 日 >

名城大学准教授曾山和彦先生をお招きして『通常学級における特別支援教育の視点を取り入れた学級づくり・授業づくり』と題したご講演をいただきました。本中学校区の3つの小学校に呼び掛け、11名の先生にも参加をいただきました。全員参加の授業づくり、集中した学びにつな



るもの、発達障害理解の基礎知識、特別支援教育の視点を活かすために必要なことなどについてパワーポイントを利用して分かりやすく教えていただきました。問題を抱えた生徒に限らず、すべての生徒を対象（ユニバーサル）とした温かな人間関係づくりや学級づくりの大切なポイントを学ぶことができました。

< 6 月 21 日 >

愛知教育大学教授土屋武志先生より『新学習指導要領を見通した教育活動－思考力を育てる言語活動・他者との協働の意義－』というテーマでご講演をいただきました。思考を深めるには、他者とのかかわりの中で進めていくことが



大切であること、ペアやグループ活動を繰り返し行い、集団による問題解決プロセスを経験させること、そして教師が授業のねらいを明確（キーワード）に持ち、生徒がこれを利用して説明する機会を与えることなどを教えていただきました。お話の間に教師によるグループ活動を幾つも行い

ながら、その活動のねらいや指導の留意点などを学ぶことができました。

※愛知教育大学准教授岩田吉生先生には、何度も本校に足を運んでいただき、普段の授業を観察していただいています。その中で、通常学級での配慮事項を具体的に教えていただきました。例えば、グループ活動の際には教師が目的を明確に持ち、一人の意見がグループの全員に共有されるよう教師が説明・指示することが大切であることや授業に集中できない生徒に対してはその生徒を見詰める（アイコンタクト）ことで注意を喚起することが有効であることなど学ぶことができました。2学期は、これらを基に授業研究を進めていく予定です。